

知ってる？

甲虫のこと

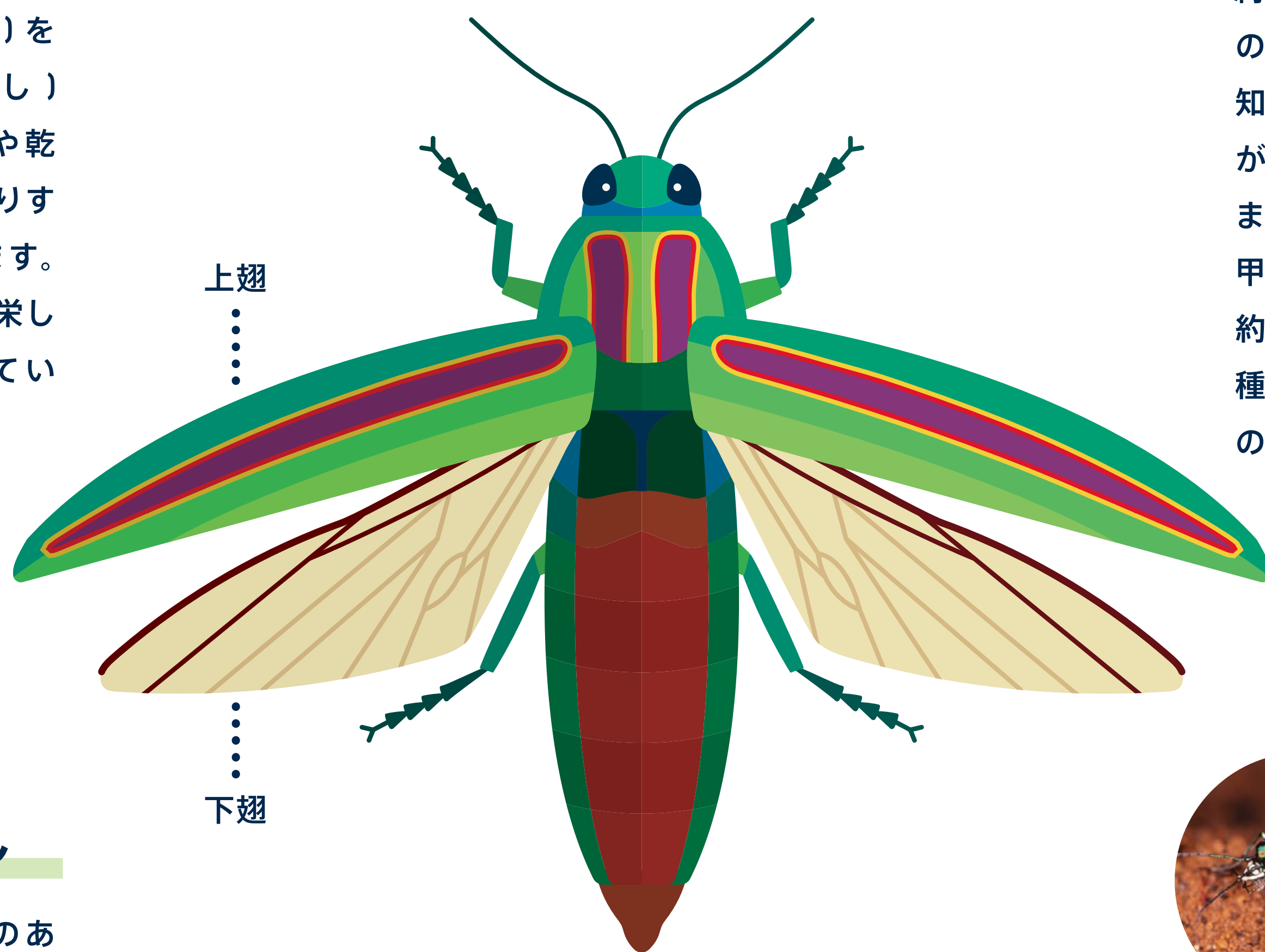
春から秋にかけて高尾山のいたるところでみられる甲虫（こうちゅう）たち。
カブトムシやクワガタムシが含まれる甲虫類は種類によって形や生態が様々で、
高尾山にも数多くの種類が生息しています。

硬い上翅

飛ぶための下翅（かし）を
覆う硬い上翅（じょうし）
は、体が傷つくことや乾
燥、敵の攻撃を防いだりす
ることに役立っています。
硬い上翅は、甲虫が繁栄し
た大きな要因となっています。

種の多様性

約160万種の世界の全動植物
のうち、昆虫は約100万種が
知られており、もっとも種類
が多い生物群といわれてい
ます。そのうち約40万種が
甲虫です。これは全動植物の
約25%にあたります。非常に
種類が多いため、形や色、体
の大きさもさまざまです。



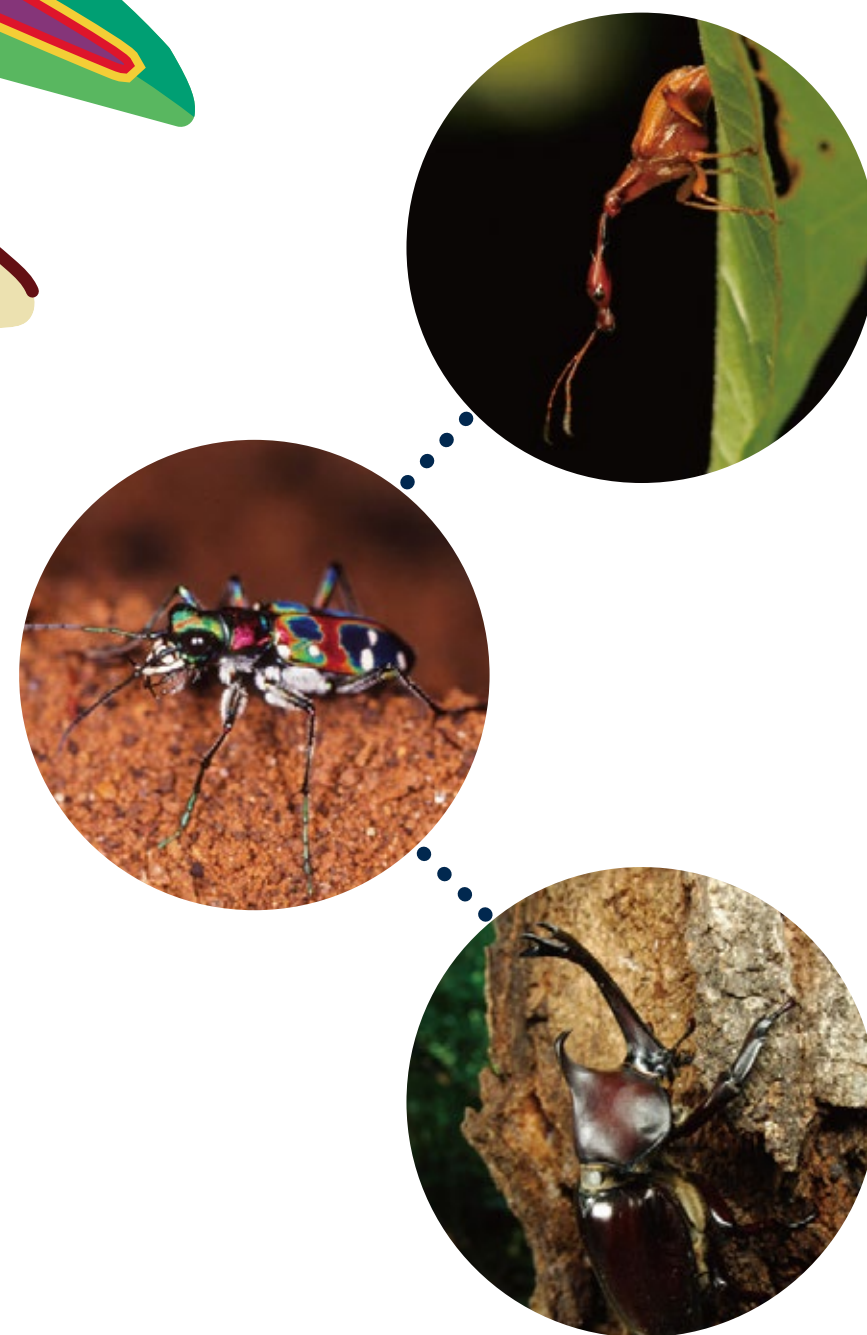
幅広い暮らし

生息場所として地上のあ
らゆる環境から水中まで
適応し、肉食、植物食、糞
（ふん）食、菌食など食性も
実に幅が広く、種類によっ
て暮らしは様々です。

ヤマトタマムシ

学名：*Chrysochroa fulgidissima*
英名：Jewel beetle

※タマムシ科のなかまを指します



高尾山は昆虫の山

高尾山は日本三大昆虫生息地の一つ

約5000種類の昆虫が生息し、箕面山（大阪）、
貴船山（京都）と並び日本三大昆虫生息地に数
えられる高尾山は、古くから昆虫研究のフィー
ルドとして愛されてきました。

高尾山の甲虫

高尾山の甲虫の正確な種数は定かではありま
せんが、一つの指標として、よく調べられてい
るカミキリムシでは、全国で記録されている約
800種類のうち、高尾山では約22%にあたる
183種類が確認されています。

日本産カミキリムシ
約800種

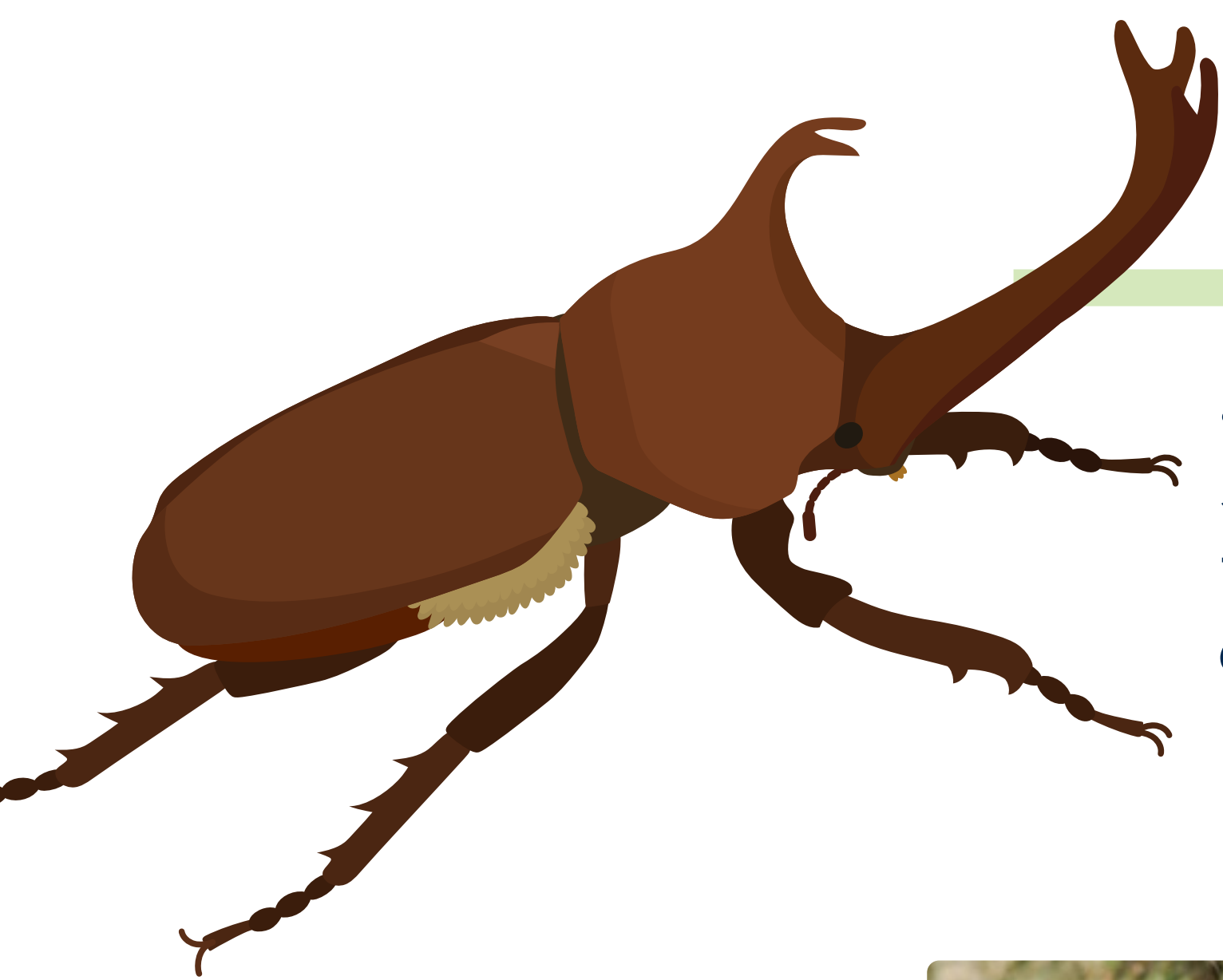
183種

高尾山で記録されている
カミキリムシ

高尾山でくらす

カブトムシ・コガネムシのなかま

見た目・体のサイズ・食べている物など種類によって様々で、とても多様性のあるグループです。
高尾山で見られる沢山の種類のうち、一部を紹介します。



カブトムシ

よく知られた甲虫で、オス成虫は立派な角を持ちます。コナラやクヌギの樹液に集まります。



コカブト

カブトムシより非常に体が小さいです。幼虫は朽ち木を食べ、成虫は昆虫の死骸を食べます。

アオカナブン

他のカナブンと比べ山地で見られ、光を受けると宝石のエメラルドのように美しく輝きます。



クロカナブン

平地から低山地で見られます。他のカナブンと比べて、姿を現わす時期がやや遅いです。



オオトラフコガネ

成虫は明るい日中に活動し、山地の花に集まります。体の派手な模様が非常に特徴的です。



センチコガネ

動物のフンを好んで食べています。体の金属光沢が美しく、地域によって体色が変わります。

シカと関係のある 甲虫

高尾山周辺では2018年からシカを目撃数が急増し、繁殖していることも分かっています。
シカが増加することで、シカと関わりがある甲虫の姿も新たに確認されました。



ゴホンダイコクコガネ

シカのフンを好んで食べるため、今後シカの増加に伴って生息数が増える可能性があります。

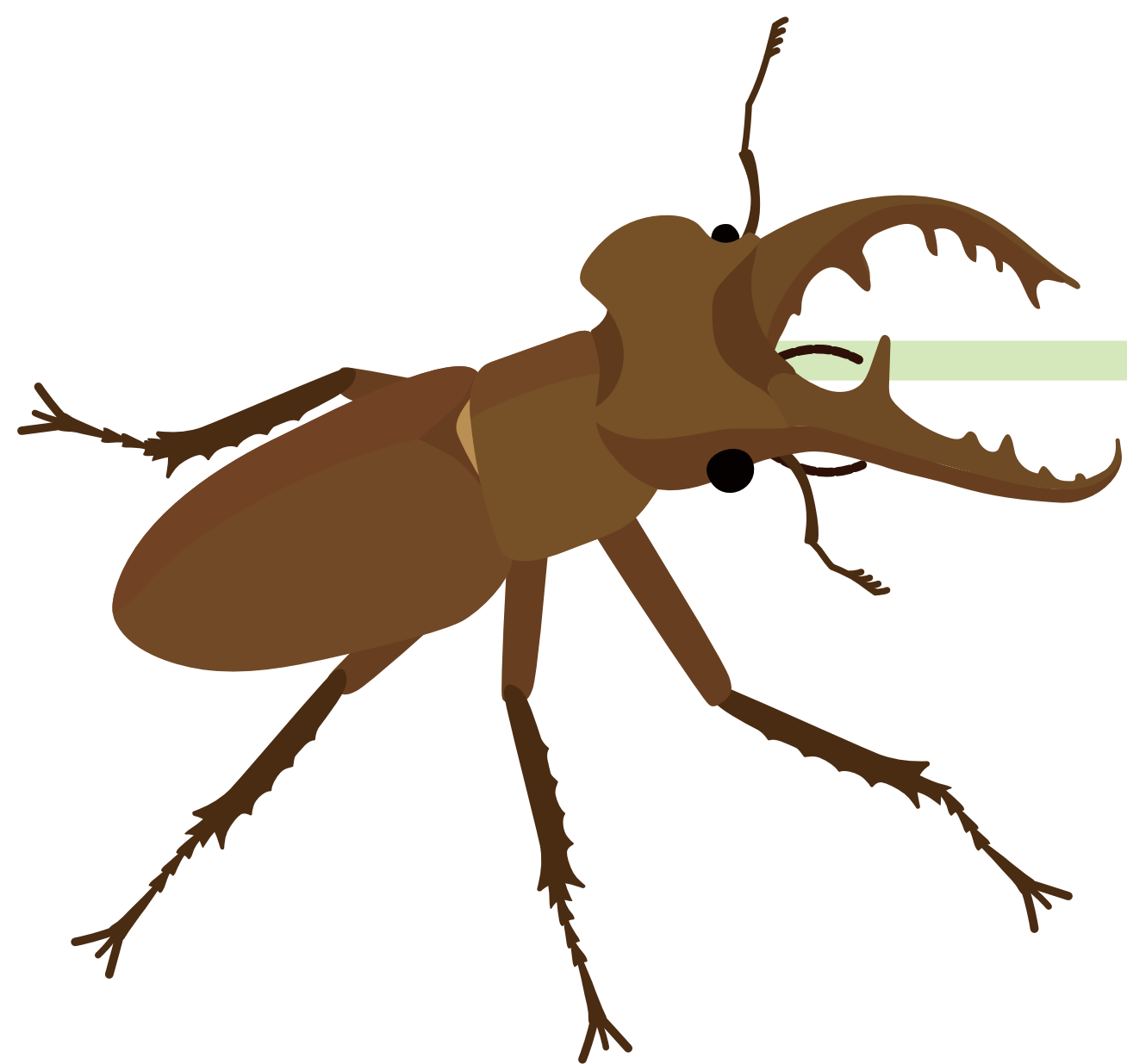
山頂付近で撮影
されたシカのオス



高尾山でくらす

クワガタムシのなかま

オス成虫の巨大な大アゴは武将の兜(かぶと)の鍬形(くわがた)に似ている種類が多く、その名前が付けられました。成虫は夜になると、樹液に集まるものが多いです。



ミヤマクワガタ

高尾山では中腹より上で見られます。地域でオス成虫の大アゴの形が3つの型に分かれます。



ノコギリクワガタ

高尾山では麓で見られます。オス成虫ののこぎり状の大アゴの形は、体の大きさで変化します。

コクワガタ

平地～山地に生息します。数が多く、よく見られる種類です。成虫の寿命は約2～3年です。



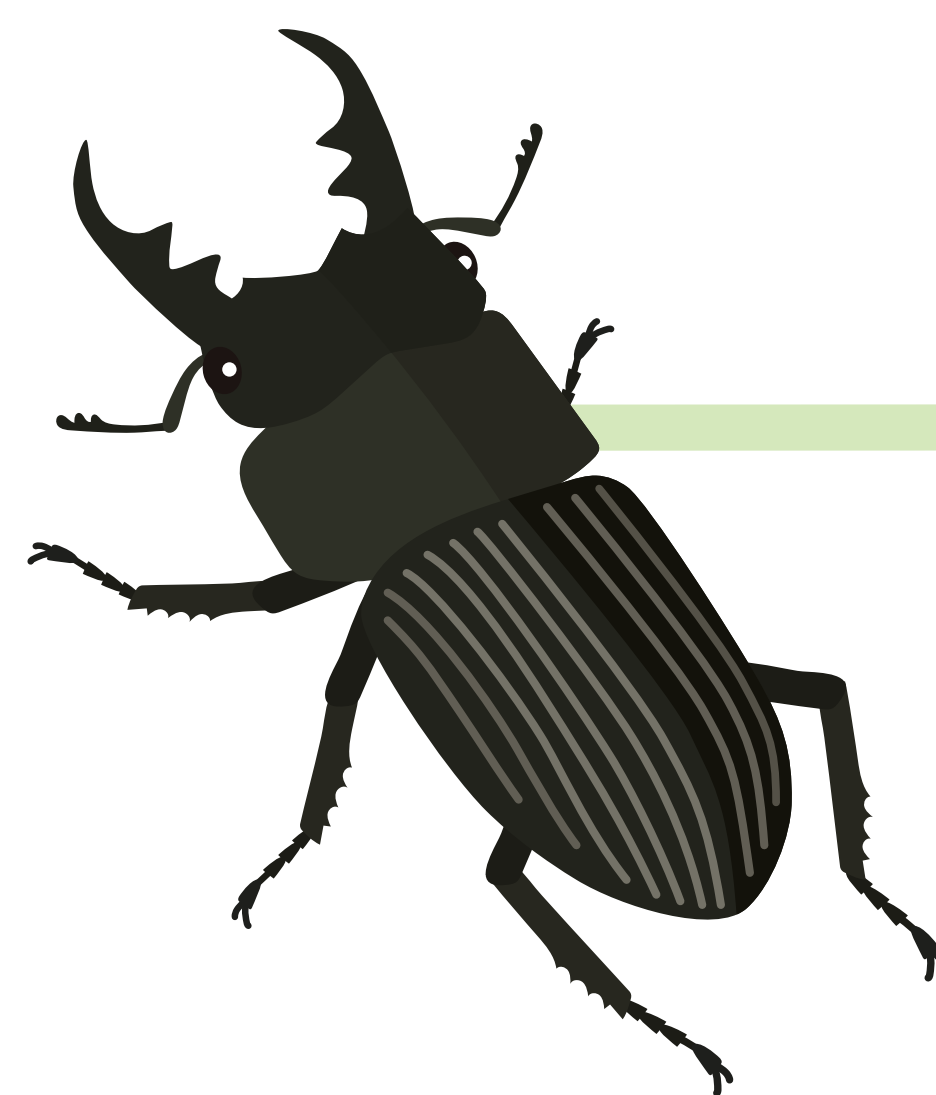
アカアシクワガタ

名前の通り、腹面から足の付け根にかけて赤色なのが特徴です。主に山地に生息します。



スジクワガタ

山地でよく見られます。コクワガタと似ていますが、上翅に名前の由来となった筋があります。



ネブトクワガタ

東日本では数が少ない種類です。成虫はクヌギ・カシ・モミなどの樹液に集まります。

クワガタブームによる影響

ペットの昆虫を野外に放さないで

近年、元々飼われていたクワガタムシが放されたことにより、本来生息していない種類が発見されることがあります。新たなクワガタムシが地域に加わると、元々生息していたクワガタムシと競合・交雑してしまう恐れがあります。



オオクワガタ

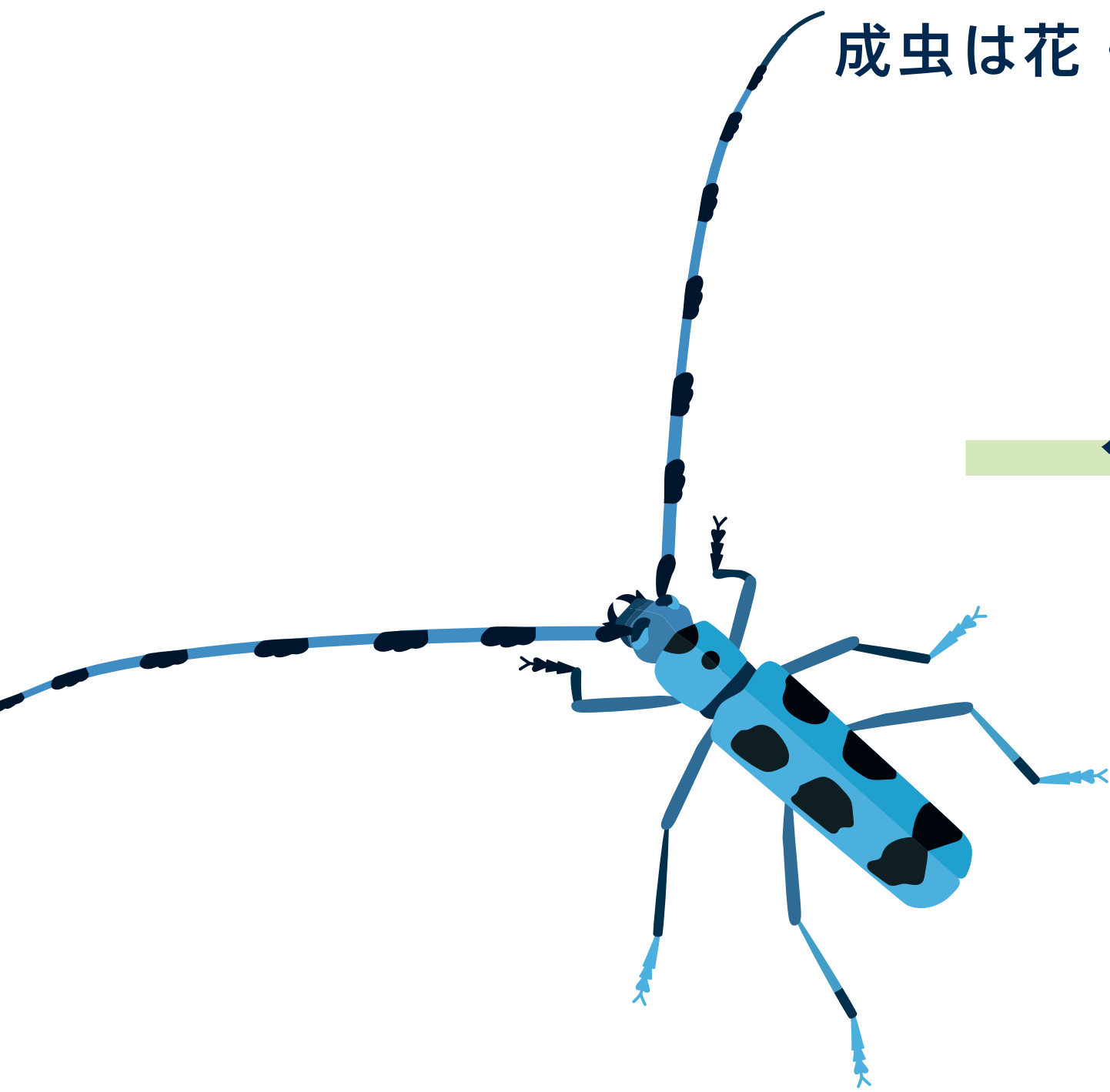
高尾山には本来生息していなかったクワガタムシです。日中は樹洞(じゅどう)に身を潜めています。

高尾山でくらす

カミキリムシのなかま

日本に約 800 種類が生息しており、ペンチのような大アゴと長い触角を持つものが多いです。

成虫は花・生きた木・枯れ木・伐採された木などに飛来します。



ルリボシカミキリ

水色の体色と黒斑のコントラストが美しい種類です。山地の伐採木や枯れ木で見られます。



ヨコヤマヒゲナガカミキリ

山地のブナ林に生息しています。上翅の模様がまるで大理石のようなきれいな色彩です。

タカオメダカカミキリ

全長 4～5mm と非常に小さなカミキリムシです。幼虫はブナの枯れ枝を食べて育ちます。



オオトラカミキリ

スズメバチによく似た色彩・斑紋をしています。メスはモミなどの生きた木に産卵します。



ノコギリカミキリ

日暮れから活動し、倒木などを好みます。名前の由来となったのこぎり状の触角を持ちます。

アカハナカミキリ

山地に生息し、タマアジサイなどの花の上で見られます。体の赤色がよく目立つ種類です。



ヨツスジハナカミキリ

平地から山地にかけて、主に花に飛来します。地域によって、体の斑紋に違いがあります。



高尾山でくらす

タマムシとオサムシのなかま

タマムシのなかま

特徴は体の金属光沢です。そのため美しい種類が多く、アクセサリーとして取り扱う国もあります。



アオタマムシ

成虫はブナやイヌブナの葉を食べ、主にモミに産卵します。体色は光の加減で虹色に光ります。



その姿はまるで「森の宝石」

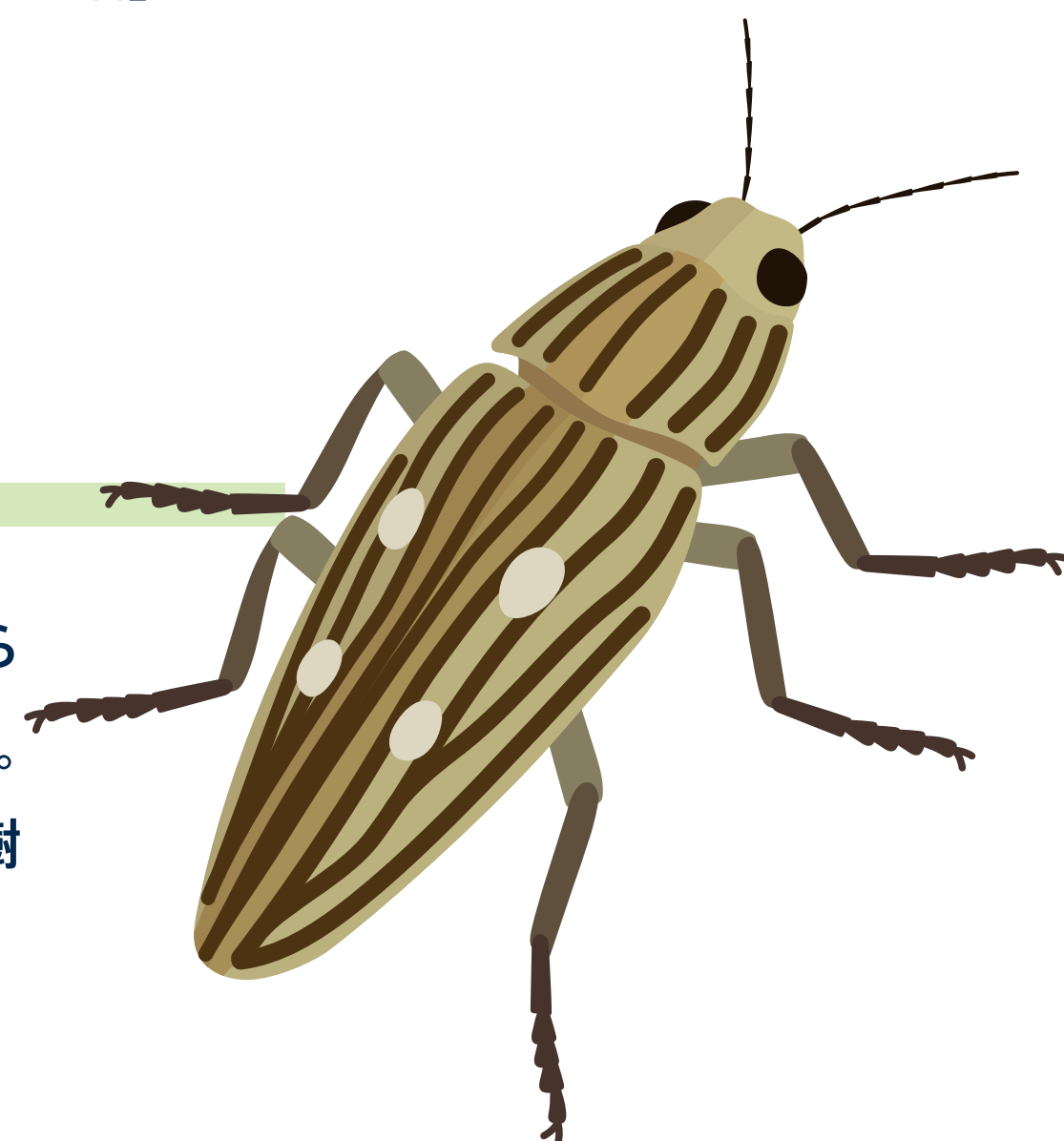
ヤマトタマムシ

緑色と赤色の光沢がとても美しい種類です。成虫はエノキやケヤキなどの樹上を飛びます。



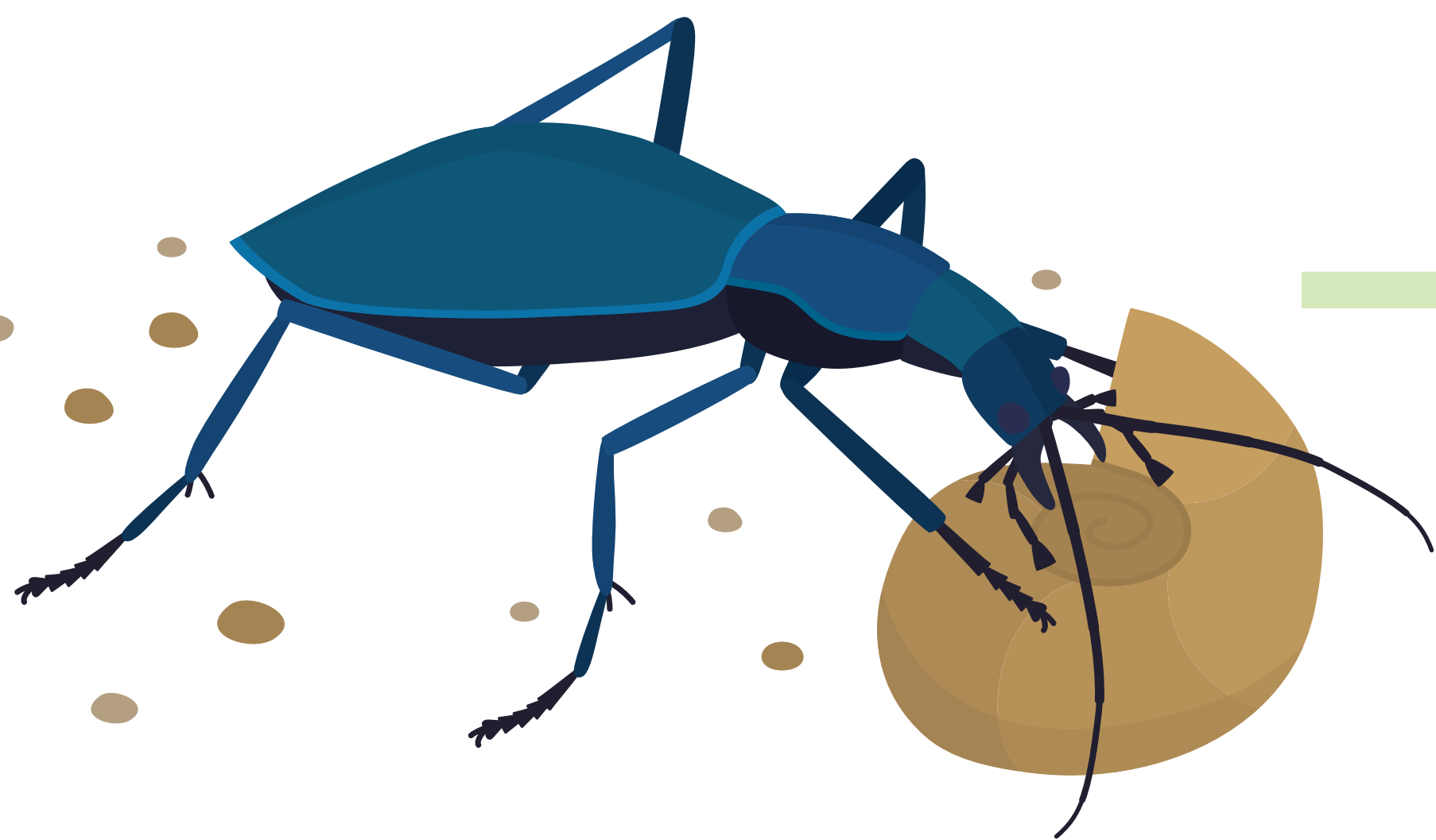
ウバタマムシ

平地から低山地で見られ、マツに産卵します。体色は枯れたマツの樹皮によく似ています。



オサムシのなかま

地上を歩き回る肉食の甲虫です。ほとんどの種類は下翅が退化しており、飛ぶことができません。



マイマイカブリ

見つけたカタツムリの殻に頭を入れて、中身を食べる姿からその名前が付けられました。



マイマイカブリの幼虫の姿

エサキオサムシ

高尾山の山内でよく見られます。地面を徘徊して、小さな昆虫やミミズなどを捕食します。



アオオサムシ

高尾山の麓でよく見られます。エサキオサムシより体は大きく、体色は緑色のものが多いです。



3つのポイント

高尾山に甲虫が多い秘密

標高 599mの低山で都心部から車や電車で1時間ほどの高尾山ですが、本展示で紹介している甲虫をはじめ、高尾山にはまだまだ多くの甲虫が生息しています。ここでは、高尾山で多くの甲虫がみられる理由を紹介します。

その
1



植物の違いが分かる1号路の男坂(南斜面)と女坂(北斜面)

暖温帯と冷温帯の気候帯の境目

高尾山は二つの気候帯の中間に位置していることで、南北で植生が異なります。そのため、高尾山全体でみられる植物の種類が多く、たくさんの甲虫を支えています。

伐採されずに残されている豊かな植生

高尾山は、周辺の山と比べて植林地が少なく、もともとの植生が残されています。ブナ・イヌブナ林など貴重な森が残されており、そこにしか住めない昆虫も生息しています。

その
2



高尾山北斜面に残るブナ

その
3



京王線高尾山口駅

都心からでも近い山

高尾山は電車で通いやすいことから、多くの愛好家、研究者が訪れ、昆虫調査が盛んに行われてきました。他の地域と比べて調査が進んでいることも多くの甲虫が見つかる理由の一つと言えます。

高尾山から発見された甲虫

高尾山やその周辺の地名が付けられた昆虫たち

長い間、昆虫愛好家に親しまれている高尾山からは数多くの新種の昆虫が発見されています。最初に発見された場所として、和名や学名に高尾山やその周辺の地名にちなんだ名前が付けられた昆虫が約30種もいます。その中には、甲虫のなかまも含まれています。ちなみに、現時点では高尾山にしかない昆虫はいないとされています。



コボトケヒゲナガ
コバネカミキリ



タカオメダカカミキリ



タカオオニセチビシテムシ

探してみよう

甲虫の観察ポイント

甲虫たちの生活は種類によって様々です。
甲虫たちの習性がわかるとたくさんの出会いがあるでしょう。



枝・葉

カミキリムシやクワガタムシがいるかも。枝葉の近くにタマムシが飛んでいることもあります。



立ち木

幹の隙間や樹洞に甲虫が潜んでいることがあります。樹液が出ていればカナブンやクワガタムシが集まっているかも。スズメバチもいる場合があるので注意しましょう。



花

カミキリムシやハナムグリなどが花粉や蜜を求めて飛来するかも。午前から昼頃にかけて飛来する種類が多いです。



枯れ木

ゾウムシやカミキリムシが産卵しに集まっているかも。キノコが生えていれば、キノコムシやハネカクシのなかまも見られます。



地表

オサムシやマイマイカブリが歩いているかも。耳をすますと小さなカサカサという落ち葉の上を歩く音が聞こえる時があります。また、地表近くにはセンチコガネが飛んでいるかも。



夜に観察する場合は
大人の方と一緒に
行動しましょう！

お願い

- ・登山道から外れない場所で生きものを観察してください。
- ・スズメバチを見つけたら、ゆっくりその場から離れましょう。
- ・生きものたちの暮らしがあるので、観察の時は自然環境を傷つけないようにそっと近づいてやさしく見守ってください。

